

I. 大阪府生物多様性地域戦略に基づく主な取組状況

目標及び取組方針

- ◆ 自然の恵みに関する意識の向上
- ◆ 自然環境に配慮した行動の推進

【取組方針 1】
生物多様性の理解と
生物多様性に資する行動の促進

2022年度の主な取組状況

- 「おおさか生物多様性フォーラム」の開催（参加者118名）【写真1】
- 府内の生物多様性関連施設等と連携した普及啓発の実施
 - ・「おおさか生物多様性施設連絡会」を開催し、連携方策を協議
 - ・共催イベントの実施（植樹体験・スタンプラリー）【写真2】、生き物や自然関係イベント情報の集約・発信
- 府民の森や府営公園、水辺における各種プログラムの提供
 - ・出前講座・自然観察会等の開催（計189回、6千名以上参加）

【写真1】



【写真2】



2023年度の主な取組予定

- 府内の生物多様性関連施設等と連携した普及啓発の実施
- 府民の森や府営公園、水辺における各種プログラムの提供
- 消費者視点での生物多様性と暮らしに関わる情報発信ツールの手法検討・コンテンツ作成

- ◆ 自然環境の持続的な保全の推進
- ◆ 事業者等と連携した保全活動の推進
- ◆ 特定外来生物の防除の推進

【取組方針 2】
自然資本の持続可能な利用、
維持・充実

- 多様な主体と連携した森・里・川・海における取組みの推進
 - ・間伐等の森林整備、木材利用の促進、関係団体と連携した里地里山等の保全
 - ・野生鳥獣のモニタリング調査・捕獲の実施、農空間の保全と活用の促進
 - ・多自然川づくりを取り入れた河川工事の実施、臨海部における自然環境の創出
 - ・大阪湾窪地の埋戻しの実施、民間事業者と連携した藻場造成の開始 等
- 「おおさか生物多様性応援宣言」(※1) の制度設計の実施
- 気候変動に対する取組の推進
 - ・脱炭素ポイント制度の検討、条例に基づく大規模事業者の取組みの促進
- 外来生物に係る啓発及び特定外来生物の防除の推進
 - ・「大阪府特定外来生物アラートリスト」の作成、SNS等を活用した啓発の実施（計6回）
 - ・クビアカツヤカミキリ防除対策研修会開催・被害調査の実施



おおさか生物多様性
「おおさか生物多様性応援宣言」
ロゴマーク

※1 生物多様性保全に取組む企業・団体に取組内容を宣言（登録）いただき、府がPRを行う制度

- 多様な主体と連携した森・里・川・海における取組みの推進
- 「おおさか生物多様性応援宣言」の周知と登録の促進
- 企業・団体向け生物多様性シンポジウムの開催
- 「大阪府特定外来生物アラートリスト」等を活用した啓発及び防除の推進



「大阪府特定外来生物アラートリスト」▶

- ◆ 市町村や保全団体等と連携したモニタリング体制の構築

【取組方針 3】
生物多様性保全に資する
仕組みづくりの推進

- 生物多様性保全に係る基礎データの収集・整理
 - ・市町村等に対し、野生動植物種の生息状況などに係るデータ・資料の調査を実施
- 生物多様性保全に資する調査研究の推進（外来生物の被害対策等）
 - ・新たな知見や防除技術を踏まえ、「クビアカツヤカミキリ被害対策の手引書」(※2) 及び「大阪府クビアカツヤカミキリ防除推進計画」改定



特定外来生物クビアカツヤカミキリ
※2 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所作成

- 基礎データの収集・整理
 - ・各主体が所有する野生動植物種の生息状況に係るデータ等のリストを府HPで紹介
- 生物多様性保全に資する調査研究の推進

II. 大阪府生物多様性地域戦略部会における検証

(参考) モニタリング指標 (※3)

モニタリング指標	参考値 (2020年度)	2022年度
自然環境に配慮した行動をする府民の割合	18.6%	15.2%
連携した取組を行う事業者・団体数	299 事業者・団体	342 事業者・団体
府内で確認された特定外来生物のうち必要な対策がなされた割合	28.1% (9種/32種)	28.1% (9種/32種)
法令等に基づく地域指定の割合	24.6% (46,930ha /190,532ha)	24.6% (46,942ha /190,532ha)

※3 取組内容を検証する際に活用する指標